

裾野市・長泉町・清水町用

集団検診（生活習慣病検診）受診者募集について

各 位

富士伊豆農業協同組合
部農会・青壮年部・女性部

生活習慣病の多くは自覚症状のないまま進行し、症状がはっきり出たときにはかなり病気が進行しているというのが特徴です。健康的な生活習慣と定期的な検診はそれらを防止し、また若死にや寝たきりなどの障害を防ぐことにつながります。体の中に潜んでいる生活習慣病の芽を早期発見し、適切に対処するため、少なくとも年1回の検診を受けましょう。

記

1. 検診予定日 9月 1日（月） 8：30～10：30
2. 検診場所 JAふじ伊豆 金岡支店
3. 検診担当医 JA静岡厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院
4. 検診特徴
 - ① 健康チェック
 - ② 検査データの経年的比較
 - ③ 保健師による事後指導・電話健康相談
 - ④一貫したシステムで健康管理

【検診料金表】

[単位：円（税込）]

項 目		心電図	血液	大腸ガン	胸部	胃部	前立腺	骨密度	ペプシン ノーゲン	ヒール 検査	甲状腺	合 計
検診料		1,750	4,850	1,100	770	5,500	2,200	880	1,100	1,100	2,200	21,450
自己負担金	一般	1,000	3,000	1,000	500	800	1,600	800	1,000	1,000	2,000	12,700
	青壮年部	500	2,000	500	500	800	1,600	800	1,000	1,000	2,000	10,700

※ 検診料との差額は、全額農協負担です。

腫瘍マーカー検査について

腫瘍マーカー検査は、血液だけでも30種類以上もの検査項目が存在します。特定の腫瘍だけに現れるマーカーもあれば、複数の腫瘍で現れるマーカーもあります。腫瘍マーカーの検査では「がん」以外の病気でも高くなる場合があるため、あくまでも診断材料のひとつです。その他の検査と組み合わせて実施することがおすすめです。

項 目	基 準 値	解 説
CEA	5.0 ng/mL 以下	大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、膵がん、胆道がんなどの消化器がんをはじめ、肺がん、乳がん、甲状腺がん、卵巣がんなど、多くのがんなどで高値を示します。 がん以外の疾患では、肝硬変、慢性肝炎、胃潰瘍、肺気腫などで高値を示すことがあります。 ※大量喫煙者でも高値を示すことがあります。
AFP	10 ng/mL 以下	肝細胞がん、転移性肝がんなどで高値を示します。 がん以外の疾患では、肝硬変や肝炎、妊娠後期でも高値を示すことがあります。 ※慢性肝炎やウイルス性肝炎の方には特にお薦めします。
CA19-9	37.0 U/mL 以下	膵がん、胆嚢・胆管がんで特に高値を示しますが、胃・唾液腺・気管支・前立腺・結腸・直腸・子宮内膜のがんでも高値を示します。 がん以外の疾患では、急性膵炎、慢性膵炎、肝硬変、胆管閉塞、糖尿病などで高値を示すことがあります。

（単位：円）

検査項目	検査料	自己負担金
CEA	1,020	1,000
AFP	1,020	1,000
CA19-9	1,020	1,000
腫瘍マーカー3セット	<u>3,000</u>	<u>2,500</u>

検査データが基準値を超えた場合は他の検査項目・身体所見と照らし合わせ、経過観察 又は精密検査を行います(部位により呼吸器科・消化器科・婦人科・泌尿器科等へ受診して下さい)。腫瘍マーカーの結果のみで“がん”と診断は出来ません。

特異的IgE:アレルギー検査について

◎動植物：ヤケヒョウダニ・スギ花粉・ネコ上皮

◎食品：卵白・牛乳・小麦

アレルギー性鼻炎や喘息の原因となる代表的な、ダニ・スギ花粉・ネコ上皮や、アトピー性皮膚炎などを起こす卵白・牛乳・小麦に対する「特異的IgE」を測定します。

「特異的IgE」とはアレルギーを引き起こす原因物質（アレルゲン）を特定するための検査です。

上記の検査が対象になります。

検査による新たな採血は必要ありません。

(単位：円)

検査項目	検診料	自己負担金
◎動植物 3 項目	2,770	2,500
◎食品 3 項目	2,770	2,500
◎動植物・食品同時 6 項目	<u>5,140</u>	<u>4,500</u>



◎ 検査結果は陽性又は陰性と表示します。

<陽性の場合>

アレルゲン（ヤケヒョウダニやスギ花粉などの原因物質）に対する抗体価（アレルゲンを異物と認識し反応する物質の量）が高いことを意味します。

抗体が多い場合、アレルゲンが体内に入ったり触れた時に、鼻水や目のかゆみ、喘息症状、皮膚のかゆみや発赤など、アレルゲンと接した場所によりアレルゲン特有の症状が起きることがあります。俗にいう、花粉症やアトピー性皮膚炎などが代表的なものです。

<陰性の場合>

検査した特定のアレルゲンに対する抗体価が低いことを意味します。

今回の検査が陰性でも、アレルギー症状がある場合は今回調べたアレルゲン以外に反応するアレルゲンがある可能性があります。

屋外作業、農作業・ガーデニング・ゴルフ等をされる方

蜂アレルギー検診 のお知らせ



■蜂アレルギーとは？

蜂に刺された後に、かゆみや発赤のような皮膚炎、または嘔吐や寒気などの症状を起こすことです。

蜂毒の中にはアレルギー反応を起こす成分（アレルゲン）やヒスタミンが含まれているため、場合によってはアナフィラキシー（重度のアレルギー反応）起こす危険性があります。

厚生労働省の調査によると、蜂刺されのアナフィラキシーショックによる死亡例も報告されており、その多くは40歳以上の男性でした。

■蜂毒の特徴

蜂毒に特有なのは反応時間が早い点です。症状が早くあらわれるほど重症になることが多く**アナフィラキシーの症状が出てから心停止までの時間は15分**という報告があります。医療機関から離れた山間部などで蜂刺されにあった場合は、救急車の到着までに時間がかかることが多く、速やかな処置が必要です。



スズメバチ



アシナガバチ

■蜂アレルギー検診の申し込みについて



- 1・JA回覧にて申し込みをしてください
- 2・検診当日血液検査実施
- 3・結果は本人に後日送付

検診料金 2,970円

自己負担金 2,500円

JA静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院
健康管理課（問い合わせ先：0558-83-3340直通）